P256

ラベルは、レイヤスタイルパネル、レイヤプロパティの「ラベル」か、ツールバーの「レイヤラベリングオプション」で設定することができます。

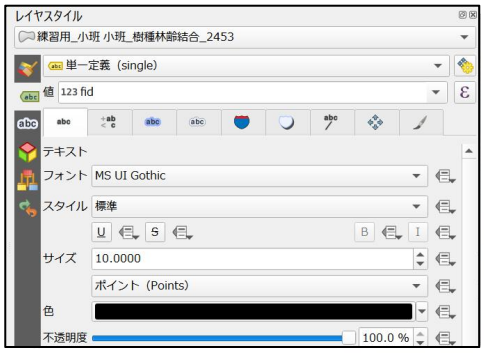


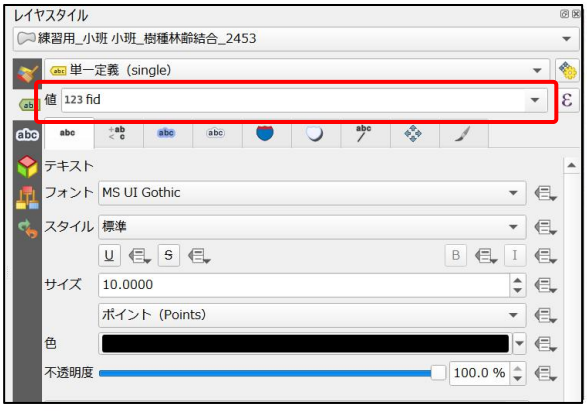
図 9.1.4　ラベルの設定画面

P257

ラベルに表示するフィールドの選択

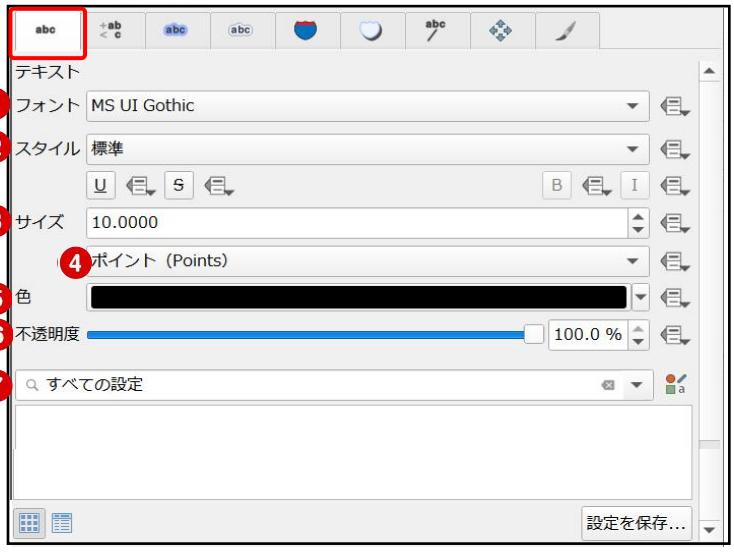
レイヤラベリング設定画面の上部の「値」で表示したいフィールドを選択することで、そのフィールドのデータをラベルとして地図に表示します。

ラベルフィールド選択欄の右にある ε ボタンをクリックし、式を設定すると、複数のフィールドを合体させたり、計算してラベルに表示することができます。



文字の大きさや色を設定

ラベル設定画面で「テキスト」abcを選択することで、フォントの種類や文字の大きさ、文字の色などを設定できます。



❶ フォント
……ラベルの文字のフォントを設定します。

❷ スタイル
……文字のスタイル(太字、斜字など)を設定します。フォントによって設定できるスタイルが変わります。下のボタンで下線、取り消し線も設定できます。

❸ サイズ
……文字の大きさを設定します。大きさの単位は「４」の設定が有効になります。

❹ 単位
……文字の大きさの単位を選択します。「ミリメートル」「ポイント」「ピクセル」は地図を拡大縮小しても文字の大きさは変わりません。「スケールでのメートル」「地図単位」「インチ」は、地図の縮尺の実寸単位となり、地図を拡大縮小すると、文字の大きさも変わります。「地図単位」の場合プロジェクトの単位が「m」であれば、「大きさ」は「m」になります。「緯度・経度」であれば「度」になります。

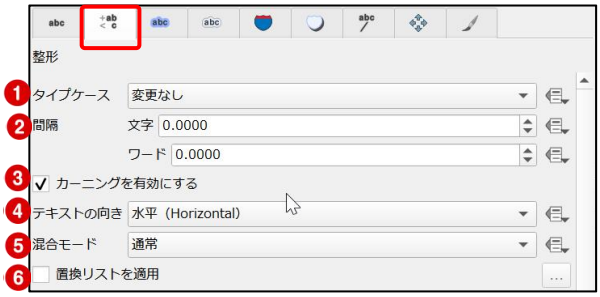
❺ 色
……文字の色を設定します。

❻ 不透明度
……文字の透過率を設定します。

❼ 設定の保存
…… スタイルマネージャにラベルの設定を保存しておくことができます。
［設定を保存］ボタンで保存します。
（バージョン3.10からの新機能）

文字の整形を設定する

「整形」では文字を改行したり、複数行の行間隔などを設定できます。なお、属性データを複数行入力できるようにするには、レイヤプロパティの「フィールド」で「属性フォーム」を編集して、「マルチライン」を有効にします【参考：10.12】。「整形」はラインレイヤで「曲がる」に設定している場合は利用できません。



1 タイプケース

……ラベルが半角アルファベットの場合、大文字、小文字の表示を選択できます。

2 間隔

……文字の間隔を設定します。「文字」は文字の同士の間隔です。

3 カーニングを有効にする

……文字をなめらかにするカーニングを有効にします。

4 テキストの向き

……「垂直」にすると文字を縦に並べます（縦書きではないので、「ー」などの記号は回転しません）。回転は属性データに回転角が記録されていると、その角度で回転します。

5 混合モード

……文字の表示における色の混合モードを選択します。

6 置換リストを適用

……［…］ボタンで置換リストを設定し、文字の置換を有効にします。

7 この文字でラップ処理

……ここに入力した文字を改行文字とすることができます。例えば、ここに「ド」と入力すると、「トドマツ」とラベルに表示されるデータが、上図のように「ド」が消えて、改行されます。この設定は属性フォームをマルチラインにしなくても利用できます。

8 ラップ処理基準

…… 属性データに半角スペースで区切られた単語ごとに改行します。「最短行に合わせる」は単語（スペースとスペースの間の文字）の文字数が指定した値以下の場合は改行します。「最長行に合わせる」は指定した１行の文字数が、複数の単語の合計文字数以下であれば改行します。

9 行の高さ

……行間の高さを設定します。

10 整列

……文字の配置を「左」「中央」「右」から選択します。

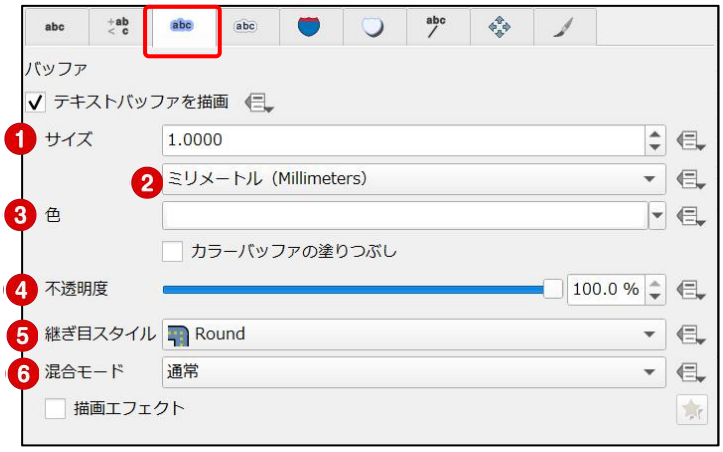
11 整形された数値

……ラベルが数字の場合、その数字の書式を設定します。小数点以下桁数と、「＋」を表示するかを設定できます。

文字の縁取りを設定する

トドマツ
L天然林

文字の縁取りは「バッファ」abc で設定します。縁取りの幅、縁取りの色などを設定できます。「テキストバッファを描画する」にチェックをつけるとこの設定が有効になります。



❶ サイズ
……縁取りの太さを設定します

❷ 単位
……縁取りの太さの単位を設定します。「ミリメートル」「ポイント」「ピクセル」だと縮尺を変更しても太さは変わりません。「スケールでのメートル」「地図単位」「インチ」だと太さは実寸で設定されますので、縮尺を変更すると太さも変わります。

❸ 色
……縁取りの色を設定します。

❹ 不透明度
……縁取りの透過率を設定します。

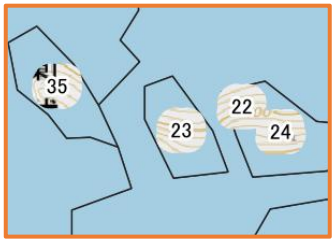
❺ 継ぎ目スタイル
……縁取りの角(かど)の形状を選択します。

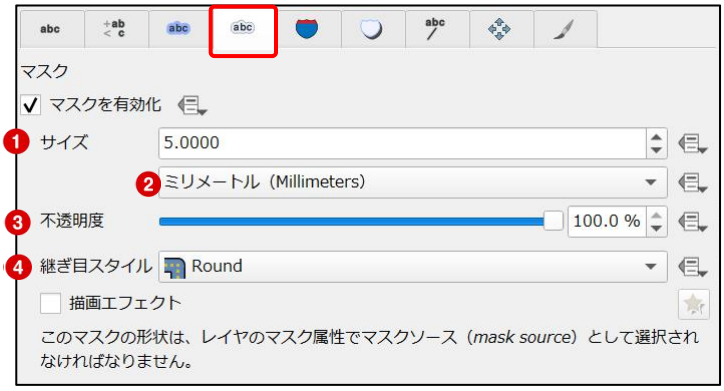
❻ 混合モード
……縁取りの色の混合モードを設定します。

ラベルマスクを設定する

ラベルマスクを設定します。設定するとラベルの周りを一定の幅で透明にすることができます。

ラベルマスクを有効にするには、「マスク属性」でマスクソースを選択する必要があります。





1 サイズ

……マスクの幅を設定します。

2 単位

……マスクの幅の単位を設定します。「ミリメートル」「ポイント」「ピクセル」だと縮尺を変更しても太さは変わりません。「スケールでのメートル」「地図単位」「インチ」だと太さは実寸で設定されますので、縮尺を変更すると太さも変わります。

3 不透明度

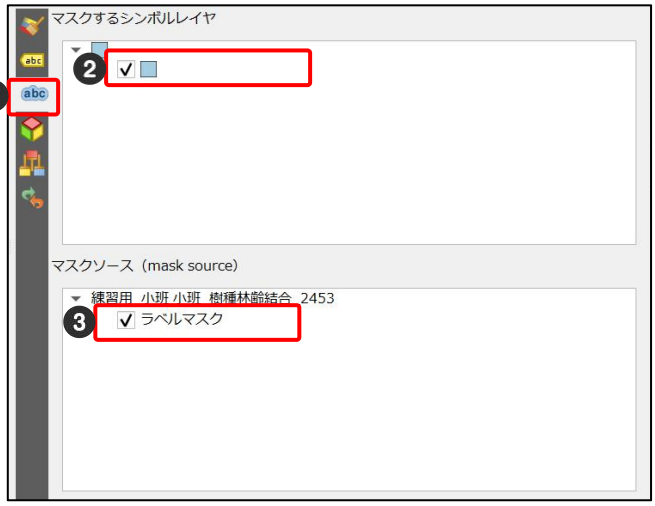
……マスクの透過率を設定します。

4 継ぎ目スタイル

……マスクの角（かど）の形状を選択します。

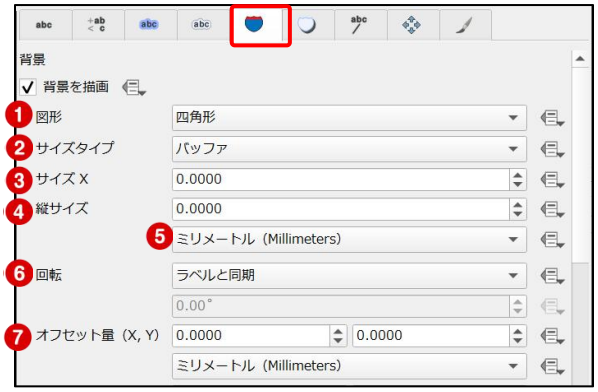
レイヤのマスク属性でマスクソースの選択

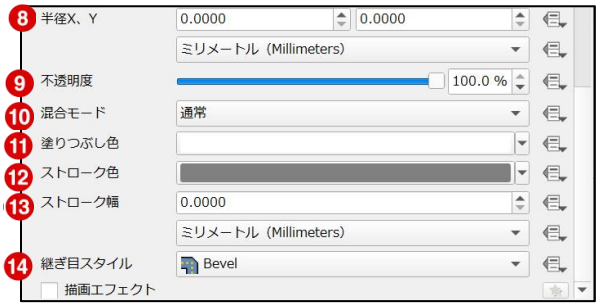
レイヤスタイルパネルの abc を選択すると「マスク属性」を設定できます。
マスク（透過）したいReiyaのシンボルを選択し、マスクソースで「ラベルマスク」にチェックをつけると、ラベルマスクが実行できます。



文字の背景を設定する

文字の背景は「背景」で設定します。背景の図形の形、背景の色などを設定できます。「背景を描く」にチェックをつけるとこの設定が有効になります。





❶ 図形
……背景とする図形を選択します。

❷ サイズタイプ
……「バッファ」は文字の長さや大きさによって図形の大きさが変化しますが、「固定」は一定の大きさの図形を描画します。

❸ サイズX
……サイズの種類で「バッファ」を選択した場合は文字の両端からの余白幅、「固定」を選択した場合は図形の横の大きさを設定します。

❹ 縦サイズ
……サイズの種類で「バッファ」を選択した場合は文字の上下端からの余白幅、「固定」を選択した場合は図形の縦の大きさを設定します。

❺ 単位
……サイズの単位を指定します。「ミリメートル」「ポイント」「ピクセル」だと縮尺を変更しても図形の大きさは変わりません。「スケールでのメートル」「地図単位」「インチ」だと縮尺を変更すると図形の大きさも変化します。

❻ 回転
……図形の回転角度を設定します。ラベルと同期するか、一定角度かを設定できます。

❼ オフセット量（X,Y）
……図形をラベルの中心から移動させる場合、その数値を設定します。

❽ 半径(XY)
……図形が「四角形」か「角形」の場合、角を丸くするための半径を指定します。

❾ 不透明度
……背景図形の透過率を設定します。

❿ 混合モード
……背景図形の色の混合モードを設定します。

⓫ 塗りつぶし色
……図形の塗りつぶしの色を設定します。

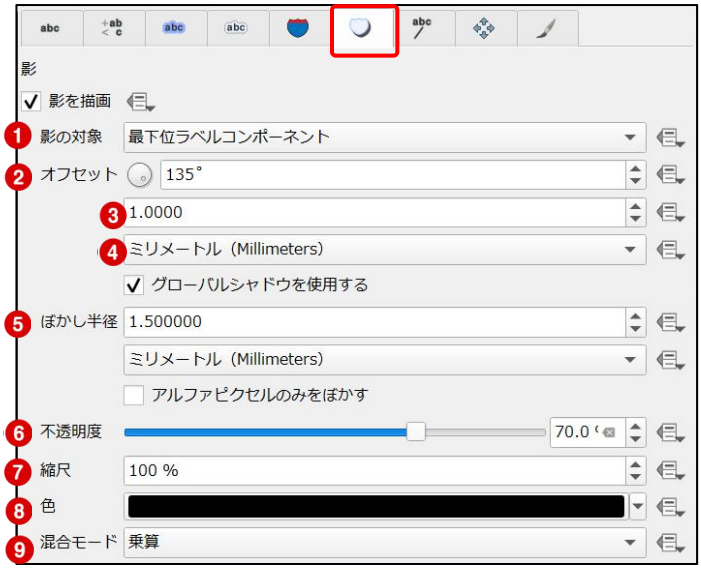
⓬ ストローク色
……図形の枠線の色を設定します。

⓭ ストローク幅
……図形の枠線の太さを設定します。

⓮ 継ぎ目スタイル
……図形の形が「四角形」や「角形」の場合、角の形状を選択します。

文字の影を設定する

文字の影は「影」で設定します。影の色、ぼかし、角度などを設定できます。「ドロップシャドウを描画する」にチェックをつけるとこの設定が有効になります。



❶ 影の対象
……ラベルの何に対して影を付けるかを設定します。「テキスト」だと文字に対して影を付けます。「バッファ」や「背景」を選択すると、バッファや背景図形に対して影を付けます。

❷ オフセット(角度)
……影を中心からずらす角度を設定します。ダイアルで設定することもできます。

❸ オフセット(幅)
……影を中心から移動する幅を設定します。

❹ 単位
……幅の単位を指定します。「ミリメートル」「ポイント」「ピクセル」だと縮尺を変更するしても図形の大きさは変わりません。「スケールでのメートル」「地図単位」「インチ」だと縮尺を変更すると図形の大きさも変化します。

❺ ぼかし半径
……影をぼかす場合の強さを設定します。

❻ 不透明度
……影の透過率を設定します。

❼ 縮尺
……対象となるラベルに対しての影の大きさを縮尺で指定します。

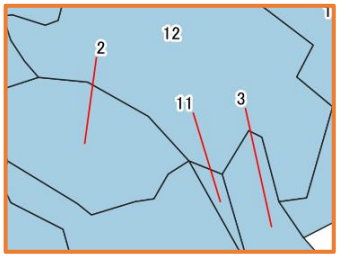
❽ 色
……影の色を設定します。

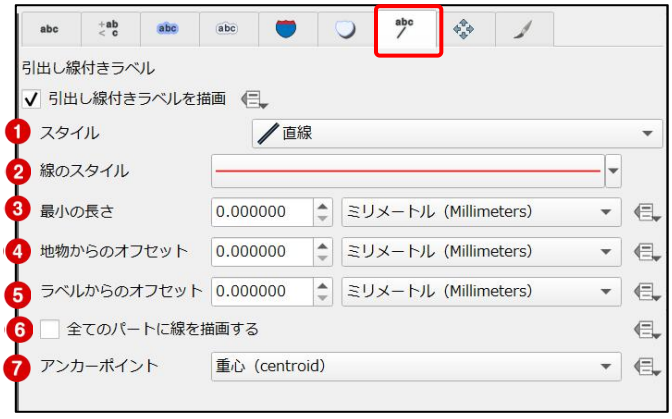
❾ 混合モード
……影の色の混合モードを設定します。

P262のあとに追加　このページは追加ですのでシールなどで貼り付けないでください。

引出し線付きラベルを設定する

引出線を設定できます。引出線はラベルを移動すると、地物とラベルの間に表示することができます。





1 スタイル

……引出線のスタイルを「直線」と「マンハッタン線」から選択します。

2 線のスタイル

……線のスタイルを設定します。

3 最小長さ

……引出線の最小長さを設定します。ここで入力した数値以下の長さの場合は表示しません。

4 地物からのオフセット

……引出線の地物側の端点の位置を指定した数値分ずらします。

5 ラベルからのオフセット

……引出線のラベル側の端点の位置を指定した数値分ずらします。

6 すべてのパートに線を描画する

……ここにチェックをつけると、ラベル移動していないが、重心から離れて表示されたラベルにも線を表示します。

7 アンカーポイント

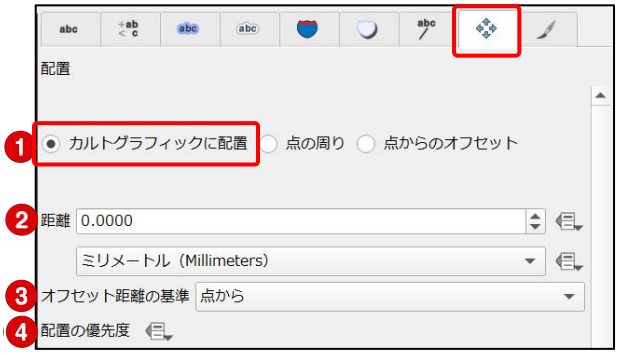
……引出線の地物側の端点の位置を選択します。

文字の配置を設定する

地物に対するラベルの表示位置を「配置」で設定します。表示する座標の位置や回転角度を属性データから取得することもできます。配置の設定は、ラベルの表示位置の種類を選択します。ポイント、ライン、ポリゴンで設定が若干変わります。

ポイントの配置

「カルトグラフィック」に配置を選んだ場合



❶ 配置の種類

……「カルトグラフィックに配置」では、ラベルの四隅をポイントに配置します。

❷ 距離

……ポイントの位置からラベルを離す距離を設定します。

❸ オフセット距離の基準

……「ポイントから」と「シンボル境界から」を選択できます。

❹ 配置の優先度

……属性データに数値が入ったフィールドを指定すると、表示するラベルの優先度を設定できます。

「点の周り」に配置を選んだ場合

❶ 配置の種類

……「点の周り」では、位置は特定せずに、自動的に重ならないように配置します。

❷ 距離

……「ポイント周り」を選択した場合の、ポイントの位置からラベルを離す距離を設定します。

❸ 配置する象限

……属性データに位置の番号が入力されていると、そのデータを使って位置を指定できます。（0～8までの数字で位置を指定します）

「点からのオフセット」に配置を選んだ場合

❶ 配置の種類

……「点からのオフセット」では、文字の位置をある程度固定して表示できます。

❷ 配置する象限

……「ポイントからのオフセット」を選択している場合、文字の表示位置を選択します。

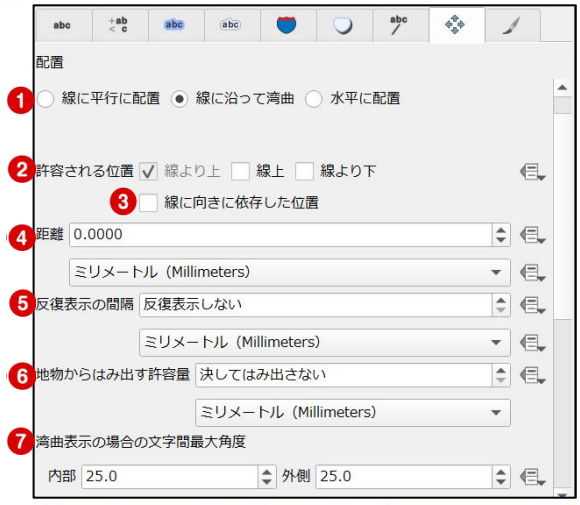
❸ オフセット量

……ポイントの位置からラベルの表示位置を移動させる距離を設定します。

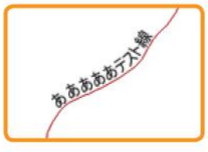
❹ 回転

……文字の回転角度を設定します。

ラインの配置



並行



曲がる

水平

❶ 文字の位置

……「平行に配置」は文字位置のラインに平行で文字はまっすぐ表示されます。「線に沿って湾曲」は、ラベルがラインに沿って表示されます。「水平に配置」は水平に文字が表示されます。

❷ 許容される位置

……文字がラインのどの位置に表示されるか指定します。チェックをつけた位置で、文字が重ならないように調整して表示されます。

❸ 線の向きに依存した位置

……文字の描画方向をラインの起点終点方向にします。

❹ 距離

……ラインと文字を離す距離を指定できます。

❺ 反復表示の間隔

……指定した数字の間隔をあけながら、文字が繰り返して表示されます。

❻ 地物からはみ出す許容値

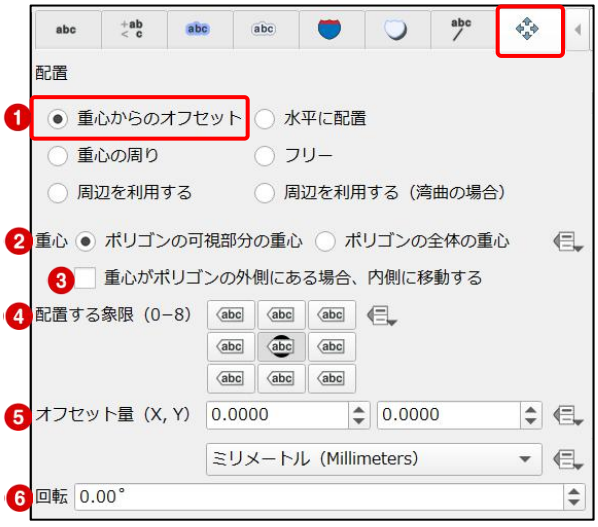
…… ラベルが地物からはみ出しても良い範囲を指定します。

❼ 湾曲表示の場合の文字間最大角度

……「曲がる」を指定した場合、ラインの角度が指定した角度より小さいと表示されません。

ポリゴンの配置

「重心からのオフセット」を選んだ場合



❶ 文字の表示位置

……「重心からのオフセット」は、ポリゴンの中心からの表示位置を指定します。

❷ 重心

……文字の基準となる中心点を、マップキャンバスに表示されている図形のみにするか（可視ポリゴン）、ポリゴン全体にするか（ポリゴン全体）指定します。

❸ 重心がポリゴンの外側にある場合、内側に移動する

……いびつなポリゴンの場合、ラベルの表示位置がポリゴンからはみ出してしまいます。自動的にポリゴンの中に移動させるか指定します。

❹ 配置する象限

……「中心からのオフセット」の場合、ラベルを表示する位置を指定します。

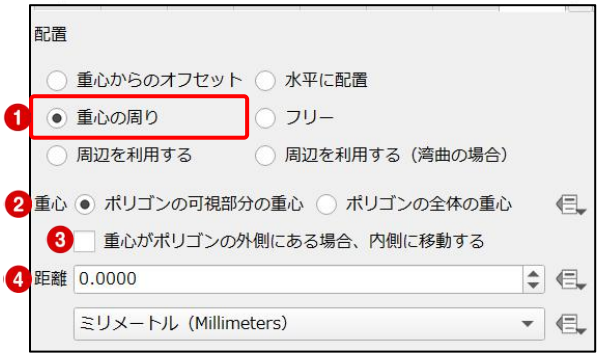
❺ オフセット量

……ラベルの表示を中心位置から移動させる距離を指定します。

❻ 回転

……ラベルを回転させる角度を指定します。

「重心の周り」に配置を選んだ場合



❶ 文字の表示位置

……「重心周り」は、ポリゴンの中心あたりの場所で、ラベルが重ならないよう適当に調整して表示されます。

❷ 重心

……「重心からのオフセット」と同じ。

❸ 重心がポリゴンの外側にある場合、内側に移動する

……「重心からのオフセット」と同じ。

❹ 距離

……ラベルを中心点から移動させる距離を指定します。

「周辺を利用する」に配置を選んだ場合

❶ 文字の表示位置

…… 「周辺を利用する」は、ポリゴンの周辺部の境界線上にラベルを配置させます。

❷ 許容される位置

……ラインのどの部分にラベルを表示させるか選択します。

❸ 線の向きに依存した位置

……ラインの書かれた方向でラベルを上か下に表示させます。

❹ 距離

……ラインとラベルとの距離を設定します。

❺ 反復表示の間隔

……ラベルをライン上に繰り返し表示させ、そのラベル間の距離を設定します。

「周辺を利用する（湾曲の場合）」に配置を選んだ場合

❶ 文字の表示位置

…… 「周囲を利用する（湾曲の場合）」は、ポリゴンの周辺部の境界線上にラベルを配置し、文字がラインに沿うように表示させます。

❷ 許容される位置

……「境界線の使用」と同じ。

❸ 線の向きに依存した位置

……「境界線の使用」と同じ。

❹ 距離

……「境界線の使用」と同じ。

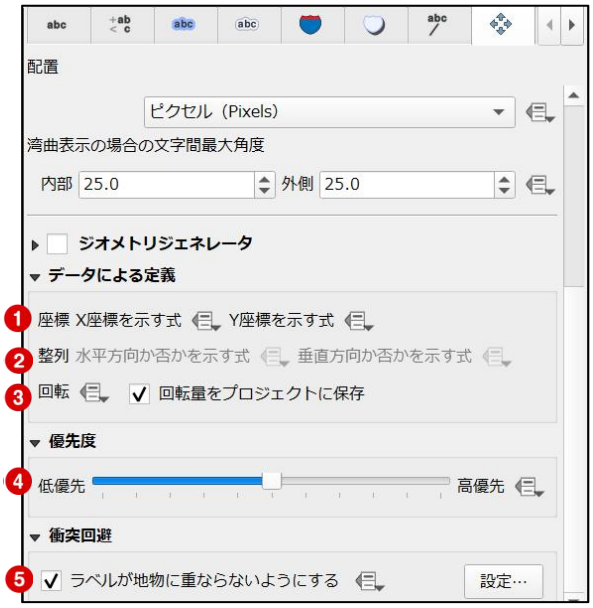
❺ 反復表示の間隔

……「境界線の使用」と同じ。

❻ 湾曲表示の場合の文字間最大角度

……曲線の角度が指定した角度より小さい場合は、ラベルを表示させません。

共通項目



1 座標

……属性データにＸ座標とＹ座標が指定されたフィールドがあれば、そのフィールドを指定することでラベルを任意の位置へ移動できるようになります。【関連：9.10】

2 整列

……座標が設定されていると有効になります。属性データに水平位置と垂直位置が指定されたフィールドがあれば、そのフィールドを指定することでラベルの位置を指定できます。

3 回転

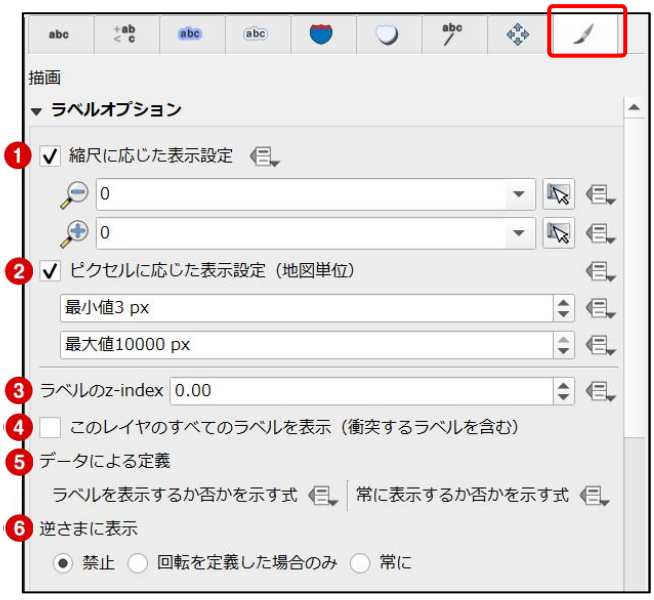
……属性データに回転角度が入力されたフィールドがあれば、そのフィールドを指定すると、ラベルをその角度で回転させることができます。【関連：9.10】

4 優先度

……そのレイヤのラベルを表示する優先度を指定します。地物がたくさんあり、ラベルが重なる場合には、自動的にラベルが間引かれますが、優先度を高くすると、表示される確率が高くなります。

5 衝突回避

……ラベルが地物に重ならないように設定することができます。



❶ 縮尺に応じた表示設定

……設定した縮尺の範囲でラベルを表示します。

❷ ピクセルに応じた表示設定

……「テキスト」で「大きさ」の単位を「地図単位」にしている場合、設定した範囲にラベルの大きさが入っている場合のみ、ラベルを表示します。

❸ ラベルのz-index

……すべてのラベルを表示している時に、ここの数字が大きいレイヤのラベルが上に表示されます。

❹ このレイヤのすべてのラベルを表示

……チェックをつけると、ラベルが重なっても全ラベルを表示します。

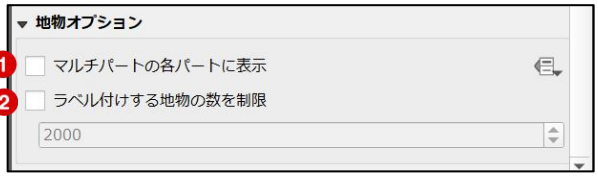
❺ データによる定義

……属性データに表示（True）非表示（False）が入力されたフィールドがあると、そのフィールドを指定することで、地物ごとの表示非表示を設定できます。

❻ 逆さまに表示

……ラベルを逆さまに表示するか指定できます。

ポイントの地物オプション



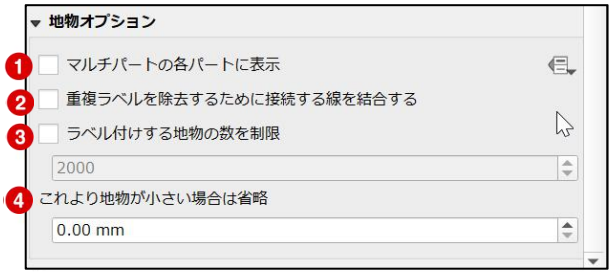
❶ マルチパートの各パートに表示

……地物には飛び地のように図形は２つ以上だがデータは１つという場合（マルチパートといいます）があります。その飛び地にもラベルを表示するか、代表図形のみに表示するか設定します。

❷ ラベル付けする地物の数を制限

……ここに指定した地物数以上のラベルは表示されません。描画速度が遅い場合に指定すると、地図の描画が速くなる場合があります。

ラインの地物オプション



❶ マルチパートの各パートに表示

……「ポイントの地物オプション」と同じ。

❷ 重複ラベルを除去するために接続する線を結合する

……短いラインが複数あって１本のラインに見える場合で、ラベルとして表示するデータが同じ場合に、通常だと短いラインすべてにラベルが表示されますが、ここにチェックをつけると、見た目上１本のラベルとして扱われ、ラベルは画面に１つのみ表示されます。

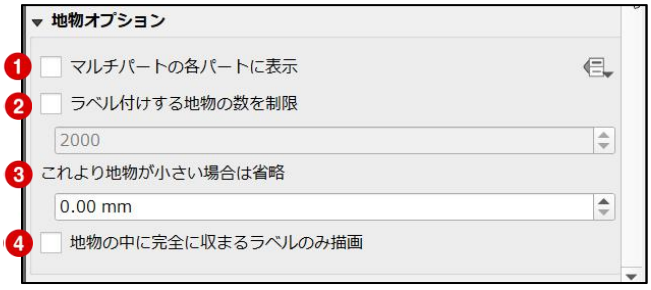
❸ ラベル付けする地物の数を制限

……「ポイントの地物オプション」と同じ。

❹ これより地物が小さい場合は省略

……ラインが指定した長さより短い場合にラベルを表示されません。

ポリゴンの地物オプション



❶ **マルチパートの各パートに表示**
……「ポイントの地物オプション」と同じ。

❷ **ラベル付けする地物の数を制限**
……「ポイントの地物オプション」と同じ。

❸ **これより地物が小さい場合は省略**
……「ラインの地物オプション」と同じ。

❹ **地物の中に完全に収まるラベルのみ描画**
……ラベルが地物の中に収まるもののみ表示されます。

削除

妨害

❶ **ラベルが地物をカバーしないようにする**
……このレイヤの重なる地物のラベルを表示しません。

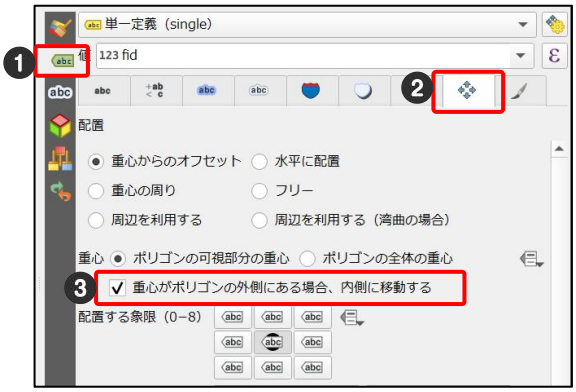
❷ **重み**
……このレイヤのラベル表示の優先度を指定します。

❸ **ラベルの配置を最小限にする**
……QGIS ではラベルは表示しやすい位置に自動的に移動されますが、移動する範囲の基準を指定します。

P271

ポイントをポリゴン内に移動する

手順1　レイヤスタイルパネルを表示し、「ラベル」を選択します。
「配置」を選択して「重心がポリゴンの外側にある場合、内側に移動する」にチェックをつけます。

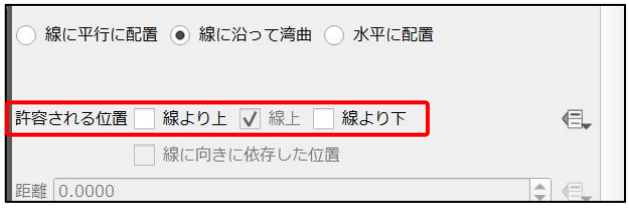


P272

曲線に沿ったラベルの設定

手順1　レイヤスタイルパネルで「ラベル」を選択し、「配置」を選択します。
「配置」で「線に沿って湾曲」を選択すると、ラインに沿ったラベル表示にすることができます。

手順2　「許容される位置」で「線上」にのみチェックをつけると、すべてのラベルがラインの上に描画されます。



P274

樹種によって文字の大きさを変える

手順1 レイヤスタイルパネルで「ラベル」を表示して、「単一定義」を選択して、樹種の保存されているフィールドを「値」に指定します。

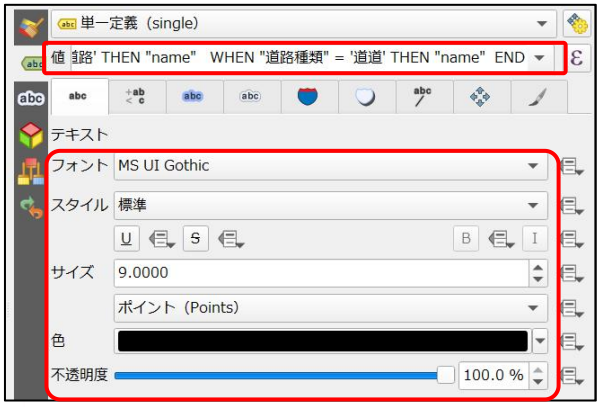
P277

属性データによってラベルフィールドを変更する

手順1 レイヤスタイルパネルで「ラベル」を選択し、「単一定義」を選択し、「ラベル」の右にある ε ボタンをクリックします。

P278

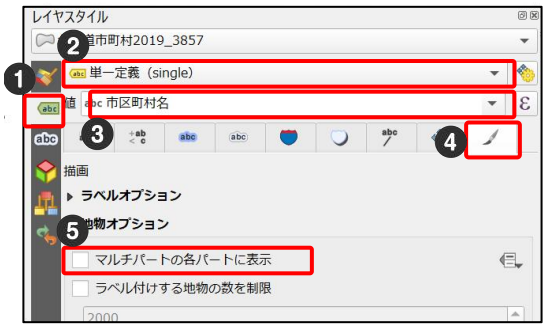
手順3 「値」に計算式が表示されます。その他の文字の大きさや、色などを設定します。



P279

一番大きな図形のみにラベルを表示する

手順1 マルチポリゴンの一番大きな図形のみにラベルを表示します。
レイヤスタイルパネルで「ラベル」abc を選択し、「単一定義」を選択し、ラベルを表示するフィールドを選択して、「レンダリング」 を選択します。
「地物オプション」の「マルチパートの各パートに表示」のチェックをはずします。

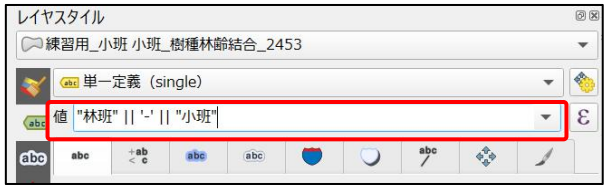


P280

ラベルを結合して表示する

手順1 計算式で林班と小班を結合します。林班と小班の間には、「－」を付けます。
レイヤスタイルパネルを開いて、「ラベル」abc を選択します。
「単一定義」を選択し、ラベルを表示するフィールドを選択する「値」の右にある ε ボタンをクリックします。

手順3 「値」のボックスに式が入力されています。

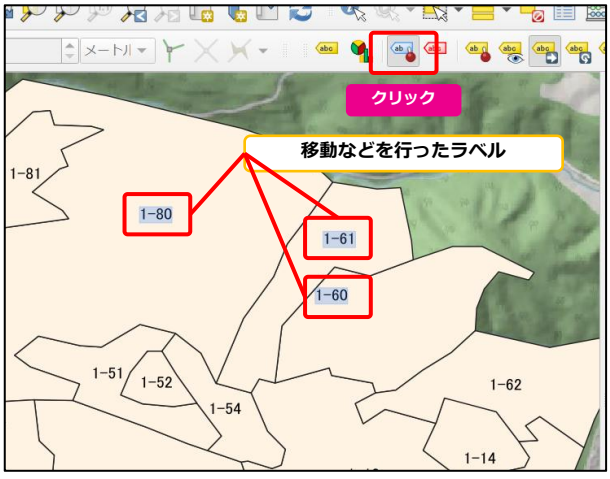


P286のあとに追加　このページは追加ですのでシールなどで貼り付けないでください。

移動や回転したラベルを強調表示

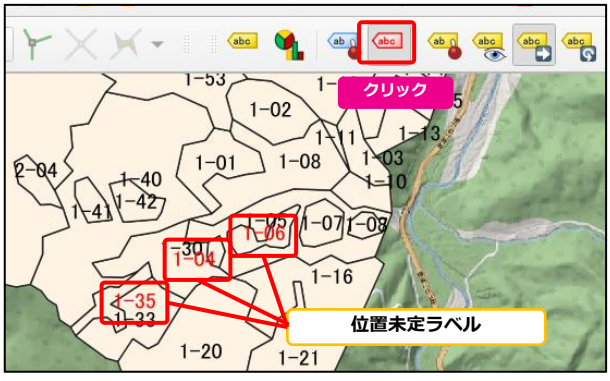
QGISバージョン3.10から追加された機能として、移動や回転など、個別に編集したラベルを強調して表示できます。どのラベルが移動されたラベルかを確認することが可能です。

ラベルツールバーの をクリックすると、移動したラベルがグレーの背景で表示されます。



隠れたラベルを表示

QGISバージョン3.10から追加された機能として、ラベルが重なって、自動的に隠されたラベル（位置未定ラベル）を赤色で表示することができます。

ラベルツールバーの をクリックすると、重なって隠れたラベルを赤文字で表示し確認することができます。

この赤い文字のラベルはレイアウト（14章参照）では表示されません。